

様式第8号（第6条関係）

令和6年11月6日

薩摩川内市議会

議長 大田 黒 博 様

（会派代表者経由）

会派の名称 自民創志会

経理責任者氏名 山中 真由美



政務活動費に係る収支報告書

薩摩川内市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により、次のとおり、令和6年度政務活動費に係る収支報告書を提出します。

1 収入

政務活動費 480,000 円

2 支出

（単位：円）

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	361,800円	7/10～12 広島県大崎上島町、高知県香美市、兵庫県洲本市
研 修 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
人 件 費		
事 務 費		
合 計	361,800円	

3 残余の額

118,200円

注1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。

2 領収書、活動報告書その他必要な書類を添付すること。

3 会派に属さない議員の場合は、「会派代表者経由」の必要はないこと。

4 会派に属さない議員の場合は、「会派の名称」は記入しないこと。

5 会派に属さない議員の場合は、「経理責任者氏名」とあるのは「議員の氏名」と読み替えること。

令和6年11月6日

薩摩川内市議会

議長 大田黒 博 様

会派の名称 自民創志会

代表者名 山元 剛



活動報告書

1 調査研究事業

(1) 調査年月日

令和6年7月10日（水）～12日（金） 2泊3日

(2) 調査参加者

山元 剛、阿久根 憲造、山中 真由美、溝上 一樹

(3) 調査先及び調査項目

広島県大崎上島町、高知県香美市、兵庫県洲本市

・ボーディングスクールについて（叡智学園）

・授業通覧、学校概要について（大宮小学校）

・移住・定住優遇制度～お帰りなさいプロジェクト～について（洲本市役所）

(4) 調査の概要

別添報告書のとおり

2 研修事業

3 広報事業

4 広聴事業

5 要請・陳情活動事業

6 その他活動

令和6年7月22日

薩摩川内市議会

議長 大田黒 博 様

会派 自民創志会

代表者 山元 剛

政務活動費による視察を実施したので、次の通り報告します。

1 視察年月日

令和6年7月10日(水)～令和6年7月12日(金)

2 視察参加者

山元剛・阿久根憲造・山中真由美・溝上一樹

3 視察先

広島県大崎上島町

叡智学園

高知県香美市

大宮小学校

兵庫県洲本市

洲本市役所

4 視察目的

叡智学園

: ボーディングスクール概要

大宮小学校

: 授業通覧、学校概要及び質疑応答

洲本市役所

: 移住・定住優遇制度～お帰りのさいプロジェクト～

5 視察の概要

: 叡智学園「ボーディングスクールについて」

ボーディングスクールとは、全寮制で24時間学生をサポートする学校を指す。

広島県立叡智学園は、国際バカロレア教育（IBプログラム）に則って、全寮制で24時間学生をサポートする、中高一貫の公立学校であり、PYP（1～4年次）、DP（5～6年）各年代への教育が国際的指標により展開されている。

教育目標は「学びの変革」の目指すべきモデルとなるべき学校として、学びを通じて平和な社会づくりを実現し続ける存在となる人材を育成する事とされ、

育てたい生徒像としては、社会の持続的な平和と発展に向け、世界中のどこにおいても地域や世界の「よりよい未来」を創造できるリーダーとなる生徒を育成するというヴィジョンの下、①様々な場面で活用できる知識・技能の深い理解 ②新しい価値を生み出す創造的・批判的思考力 ③異なる文化・価値観を持つ人々と協働する力 ④目

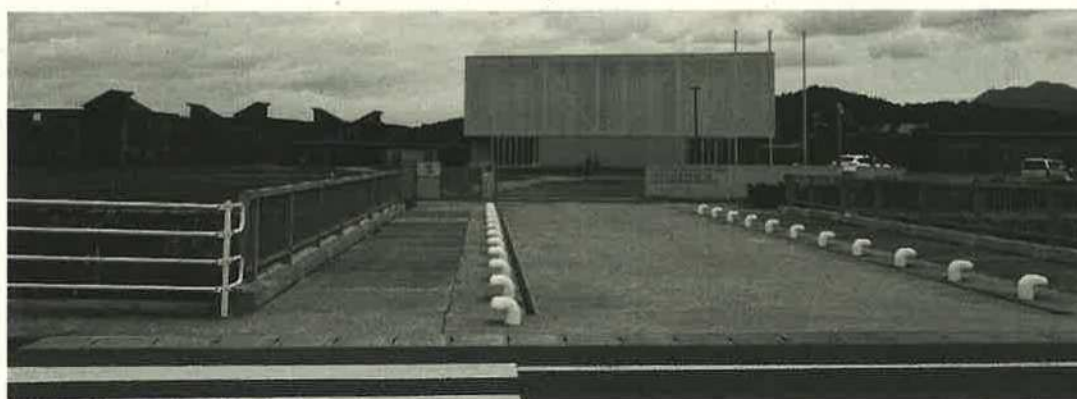
標に向かってやり抜く力・自信 ⑤日本語でも英語でも議論・協働できる高い語学力
など①～⑤までの5つの資質・能力の育成を目指している

学内と学生寮を視察させて頂き、授業中の生徒に対しいくつか談話を取らせて頂いたが、一人の4年生の生徒（英語による高等数学の授業中に…）の進路を聞いたところ、「イギリスで政治学を学びたい」と即座に返答され、言葉を失った。（英国は議会制民主主義の母国！）

他にも授業風景は英語による理解を交えたプログラムとなっており、技術・家庭・美術・音楽の授業も自主性と創造性に重きを置いたものと伺われた。

寮生活では、1年から6年生までが共通の入浴施設や洗濯場を供しており、大人びた優秀な学生の姿とは相反する、規律ある生活習慣を学習中の子供たちと言った姿も垣間見られ、教職員による生活指導も大変さを究めている状況が伺えた。

全校生徒数 252 名のうちで、広島県出身者は 133 名（52.8%）、県外出身者は 98 名（38.9%）、海外からは 21 名（8.3% 高校のみ）となっており、入学にあたっての競争率は 6.5 倍であるとの事である。また、61 名の教職員のうち、外国籍の教員は 14 名であった。





：大宮小学校「授業通覧、学校概要について」

香美市立大宮小学校は、平成 26 年に文部科学省スーパー食育事業の指定を受けた事を皮切りに、同 28 年に文部科学省指定コミュニティスクールの導入促進に関する調査研究事業を受託され、令和元年には香美市指定国際委バカロレア教育の研究実践を開始し、同 2 年に国際バカロレア PYP（初等教育）認定校となり、英語指導教員の配置による英語教育推進事業の指定を受け研究を続けている。

国際バカロレア（IB）教育の認定を受ける事とした動機としては、これからの学校教育には、児童が様々な変化に向き合い、他者と協働して課題を解決する事や、様々な情報を見極め知識の概念的な理解を実現し情報を再構築するなどし、新たな価値につなげて行く事、複雑な状況・変化の中で目的を再構築できるようになる事が求められていると考え、この様な資質・能力を育むために探求の学びを基盤とする国際バカロレア（IB）教育のプログラムを導入する事となったとされている。

導入にあたっては、国が定めた学習指導要領の内容をIB教育のフレームワークで捉え、大宮小学校独自のカリキュラムを実践する事で「社会に開かれた教育課程」の実現を目指しているとの事であった。

IBの使命とは、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良いより平和な政界を築くことに貢献する、探求心、知識、思いやりに富んだ若者を育成を目的としており、10の学習者像として、①探求する人 ②知識のある人 ③考える人 ④コミュニケーションが出来る人 ⑤信念を持つ人 ⑥心を開く人 ⑦思いやりのある人 ⑧挑戦する人 ⑨バランスの取れた人 ⑩振り返りが出来る人 とされている。教育の枠を超えた6つのテーマとして ①私たちは誰なのか ②私たちはどのような場所と時代にいいのか ③世界はどのような仕組みになっているのか ④私たちはどのように自分を表現するのか ⑤私たちは自分たちをどの様に組織しているか ⑥この地球を共有すること（英文省略）を掲げ、これらを踏まえながら6年間繰り返えし学ぶ結果として、範囲が広く深みのある、連続性のあるカリキュラム内容として教育プログラムに浸透しているとの事だった。

具体的には、以下のとおりである。

1年生 テーマ：この地球を共有するという事

セントラルアイデア：「生き物はたがいにつながっている」

2年生 テーマ：世界はどのような仕組みになっているのか

セントラルアイデア：「私たちの生活は見えない力で出来ている」

3年生 テーマ：私たちは自分たちをどの様に組織しているか

セントラルアイデア：「いろいろな人の一生懸命（こだわり）で私たちの生活はなりたっている」

4年生 テーマ：私たちはどのように自分を表現するのか

セントラルアイデア：「制約と創造は芸術の源である」

5年生 テーマ：私たちはどのような場所と時代にいいのか

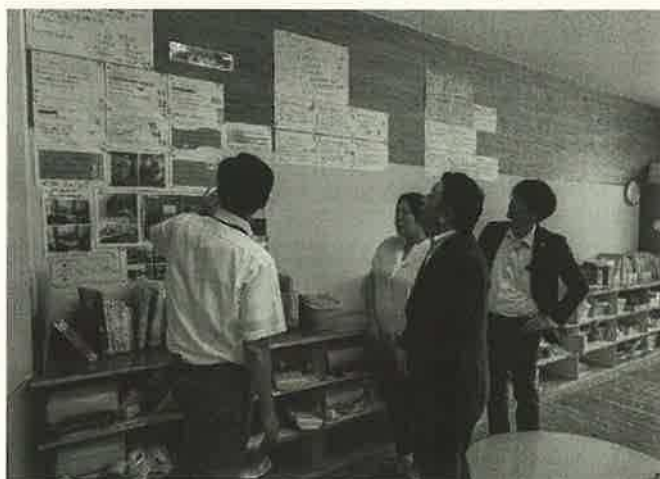
セントラルアイデア：「歴史は常に未来に問いかける」

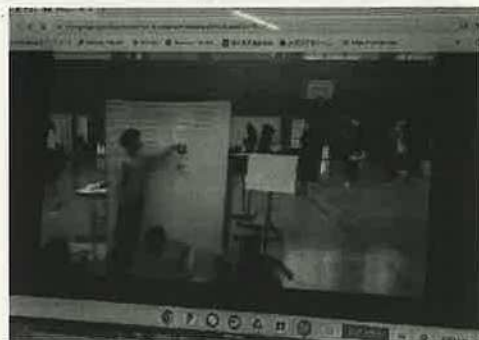
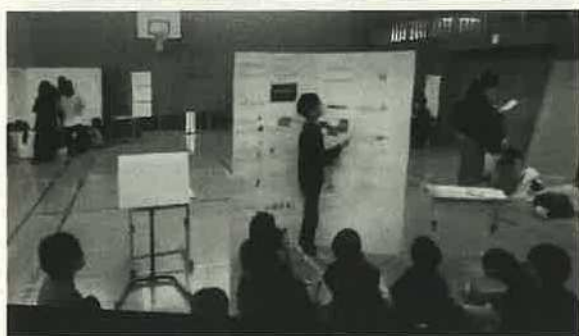
6年生 テーマ：私たちはどのような場所と時代にいいのか

セントラルアイデア：「経済は人の心理で動く」

教育の主眼は詰め込む事ではなく、深く物事を理解し、他者にも説明でき、生活や社会に生かすことである事から、卒業にあたっては自分で設定したテーマについて研究した事をまとめて、ポスター形式で在校生や父兄、地域の方々に発表（プレゼン）しているとの事であった。

これらを高知県教育委員会及び香美市教育委員会の協力の下で実践されている。





：洲本市役所「移住・定住優遇制度～お帰りなさいプロジェクト～について」

淡路島は、明石大橋と接続する淡路市、中央部の洲本市、鳴門大橋と接続する南あわじ市の3市で区分されている。（島内人口は12万人強で、3市とも約4万人ずつの人口を分け合う状況…）

洲本市は、島の中心分に位置し、古くから経済の中心地として位置して来たが、平成10年に明石海峡大橋が開通し、平成17年の市町村合併により、1市10町体制から、南部が淡路市、北部が南あわじ市として3市に編成されて以降の人口減少と高齢化の進展により消滅可能性自治体となってしまった。

第3期洲本市総合戦略において、洲本市が目指す戦略人口として、2060年（令和40年）時点の推計人口19,200人を27,000人とする目標を立て、必要な人口減少対策として「まち」「ひと」「しごと」視点の3つの基本戦略に「DX」の視点を加え、取組を強化・加速化するとしている。

移住・定住に結び付ける取組みとしては、移住定住支援事業、起業支援事業として、
 ①H25年度～おかえりなさいプロジェクト（転入世帯、新婚世帯への住宅取得支援等）
 ②H28年度～起業支援事業（女性若者起業支援 → R4年度～制限撤廃）
 ③H30年度～奨学金返還支援事業
 ④R03年度～移住者総合支援事業（移住キャンペーン、新生活スタートアップ支援、田舎暮らし推進）
 ⑤R06年度～おいでよ洲本新生活支援事業に改正
 まで変遷してきている。

これらの取組みを行っているが、隣接自治体（明石市）などとの激しい競合もあり、毎

年 300 人が社会人口減となっていたが、近年（R3,4 年度）は社会増となっている。

洲本市の特徴としては、「気候が温暖」「食べ物がおいしい」「京阪神に近い」「生活は便利」の 4 点があり、ターゲットのニーズとのマッチングをはかっている。

具体的なニーズとしては、「農（農業～家庭菜園）」「家族構成（医療資源・保育所・学校）」「ライフスタイルの変遷」であり、ターゲットに対し「ちょうど良い田舎暮らし」「都市部への高アクセス」を PR している。

移住者の仕事については、①島内での企業へ就職（淡路地域人材確保協議会） ②島外へ通勤（神戸・大阪方面への高速バスターミナル、通勤支援） ③起業する（チャレンジショップ・企業支援策） ④就農する（親方制度…ヒアリング～実践研修まで総合サポート）

関係人口のを生かす取組みとして、島内人口（12 万人）の約 100 倍である、1200 万人が観光・レジャーに訪れており、観光だけでなく地域に関わり、担い手となる外部人材を増やす取組みにより、移住を検討する母数の増加、移住・定住につなげる事を目指して、①地域と都市部の大学生をつなぐ「域学連携事業」（H25～）②地域おこし協力隊（5 名）や地域活性化起業人（2 名）を採用し、知見を持った人材を地域に呼び込み、卒業後の定住をはかる ③公民連携の推進…「淡路島ゼロイチコンソーシアムへの参画」「富士通株式会社とのワーケーションパートナーシップ協定の締結」など民間企業との連携の推進。

域学連携～バンカランカ～

洲本市では、地域住民と都市住民がそれぞれに、何かおもしろいことをやろうとしたときに「遊ばんか！」「作らんか！」と呼びかけ、それに「よっしゃー！」と答える、そんな土壤があります。バンカランカとは、おもしろいことに超ポジティブに取り組もうとする姿勢であり、一緒にやろうと思わせる魔法の言葉です。洲本市でたくさんの「〇〇ばんか！」「〇〇らんか！」（＝バンカランカ）と「よっしゃー！」（＝ヨッ者ー！）が生まれ、これらが数珠つなぎのように連鎖することで、洲本市をどんどんおもしろくしていきたい、そんな思いが込められています。（HP より転載）

メニューとしては

「廃校リノベーションプロジェクト」「卒業生活動拠点整備プロジェクト」「何も無いを面白いに変えたい～名もなき観光プロジェクト」「淡路島を歩き倒したい～淡路島ロングトレイル構想」「洲本市域学連携事業（洲本市の地域の方、役場職員と一緒に、イベント開催、お祭り参加、古民家改修、商品開発など地域づくり活動）」「竹原小水力発電プロジェクト（クリーンな電力を使ったイベントの開発）」などなどがある。



6 所感

「広島県の取組み、国際バカロレア認定校・叡智学園について」

「香美市と香美市教育委員会の取組み、国際バカロレア認定校・大宮小学校について」

両校とも国際バカロレア（IB）の認定を受けた教育を実践する公立学校であり、学習指導要領の枠内においてIB教育を行っておられ、その教育に対応しているのは県及び市の教育委員会から派遣された公務員の教職員であると言う事であった。

両校ともIBに則った教育を実施されており、教育理念に共通点が多いが、県立叡智学園は全国および海外から生徒を集めて、グローバルな国際社会に通用する人材への成長を促す教育と言った視点が特徴的であり、大宮小学校は生徒が存在する地域と社会や世界とのつながりを実感させる教育と言った視点がユニークと思われた。

いずれの学校でも、学んだことを日本語でも英語でも表現出来る様に教育を授け、詰込みよりも表現したり発表したりさせる事に重きを置き、深く学んで末永く学び続けていく事も教育の目的に入っている様だった。

とは言え、公立学校である為、教職員は普通に教育委員会の基準で人事異動があり、広島県及び高知県の教育委員会の教職員はこの2校に対応しなければならず、職員の負担は大きいものが想定され、今後も2校の隆盛を祈りながら、学校運営を見守りたいと感じた。

最後に、香美市大宮小学校の視察においては、視察開始から終了に至るまで、依光晃一郎市長が直々に立ち会って下さり、高知県の教育政策の状況説明に関して、元高知県議会議員の立場も交えながら丁寧に御教示頂いた他、大宮小で実践しているIB教育を香美市内のその他の公立学校に「どのように拡げていくかを課題としている」と熱い思いを語って頂いた。

ご配慮に恐縮し感謝すると共に、教育事業への絶え間ない熱意に応援の気持ちを捧げたい次第である。

「洲本市の移住・定住政策について」

洲本市はかつての淡路島の中心地であり、古くはカネボウ、三洋電機（その後パナソ

ニック)などの企業城下町であったが、架橋で近畿地区と接続する淡路市の発展に目覚ましいものがあり、南あわじ市の農水産業などと言った目立った特色が少なく、特徴に乏しい自治体ではあるが、従来の住宅支援補助金 300 万円などの移住促進策を見直し、より効果的な移住・定住推進策の実施及び域学連携事業をはじめとする、交流人口の拡大と洲本市を「ひいき」とする人々を増やす数々の施策が、同様な自治体である本市の参考になりそうだと感じた。

また、当日拝見させて頂いた観光紹介や事業紹介のパンフレット、WEB ページなどの PR 資材は、いずれも装丁や構成が見事で、内容もわかりやすいものであり、他市町村も参考にして欲しいと感じた。

政務活動費領収書等添付用紙

			整理番号
使途項目	調査研究費	支出内容	
(領収書等貼付面)			
領 収 証 No. _____ 自民創志会 様 6 年 7 月 6 日 ★ ￥ 13,180 - 但 お菓子代・送料として 上記正に領収いたしました 内 訳 税抜金額 8,565 消費税額等(8%) 685 3,573 (10%) 357 鹿児島県薩摩川内市平佐町4221-4 有限会社 かしの樹 代表取締役 前園 雅 TEL 0996-27-27 FAX 0996-27-71 T3340002017534 コクヨ ウケ-78			
(事業名、使途及び内容等)			
7/10～12 視察お土産代 3箇所 (送料含む)			
(備考)			

政務活動費領収書等添付用紙

			整理番号
使途項目	調査研究費	支出内容	
(領収書等貼付面)			

領 収 証

No.467845



自民創志会 様

発行日 2024 年 7 月 8 日

¥ 317,600 -

但し 視察費として

上記の通り領収致しました。

内訳

消費税率10% 対象金額(税込) ¥ 317,600
(内消費税28,872円) 南国交通株式会社 登録番号 T7340001003192

消費税率 8% 対象金額(税込) ¥

発行部所

川内営業所

現金・クレジット・()

TEL:0996-23-2161



(事業名、使途及び内容等)

7/10～12 視察旅費

JR・バス・宿泊代 4人分

(備考)

政務活動費支払証明書

使 途 項 目 調査研究費

支 払 年 月 日	支 払 額	支 払 先	使 途 及 び 内 容	添 付 で き な い 理 由
R6.7.10	390 円	安芸津フェリー	安芸津港から大西湊までの船賃（片道）	当日、乗車券を購入したため
R6.7.10	390 円	安芸津フェリー	安芸津港から大西湊までの船賃（片道）	当日、乗車券を購入したため
R6.7.10	390 円	安芸津フェリー	安芸津港から大西湊までの船賃（片道）	当日、乗車券を購入したため
R6.7.10	390 円	安芸津フェリー	安芸津港から大西湊までの船賃（片道）	当日、乗車券を購入したため
R6.7.10	980 円	大三島ブルーライン	木江港から今治港までの船賃（片道）	当日、乗車券を購入したため
R6.7.10	980 円	大三島ブルーライン	木江港から今治港までの船賃（片道）	当日、乗車券を購入したため
R6.7.10	980 円	大三島ブルーライン	木江港から今治港までの船賃（片道）	当日、乗車券を購入したため
R6.7.10	980 円	大三島ブルーライン	木江港から今治港までの船賃（片道）	当日、乗車券を購入したため
合 計	5,480 円			

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和 6 年 7 月 1 2 日

会 派 名 自民創志会

代 表 者 山 元 剛



政務活動費支払証明書

使途項目 調査研究費

支 払 年 月 日	支 払 額	支 払 先	使 途 及 び 内 容	添付できない理 由
R6.7.10	770 円	芸 陽 バス	西条駅から安芸津駅までのバス賃（片道）	当日、乗車券を購入したため
R6.7.10	770 円	芸 陽 バス	西条駅から安芸津駅までのバス賃（片道）	当日、乗車券を購入したため
R6.7.10	770 円	芸 陽 バス	西条駅から安芸津駅までのバス賃（片道）	当日、乗車券を購入したため
R6.7.10	770 円	芸 陽 バス	西条駅から安芸津駅までのバス賃（片道）	当日、乗車券を購入したため
合 計	3,080 円			

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和 6 年 7 月 1 2 日

会派名 自民創志会

代表者 山元 剛



市内旅費領収明細書

整理番号	日付	出張用務	起点～終点	旅費額	領収日	領収印	備考
1	7月10日 7月12日	会派視察市内旅費	可愛～平佐西	150円	7/12		
2	7月9日 7月14日	会派視察市内旅費	里～平佐西	22,310円	7/14		前後泊
3			～	円			
4			～	円			
5			～	円			
6			～	円			
7			～	円			
8			～	円			
9			～	円			
10			～	円			
11			～	円			
12			～	円			
13			～	円			
14			～	円			
15			～	円			
16			～	円			
17			～	円			
18			～	円			
19			～	円			
20			～	円			
		合計	～	22,460円			

※薩摩川内市職員等旅費の支給に関する条例施行規則に準じて支出

自民創志会 7/10~12 政務調査分無効化切符

新幹線特急券

①交付

(鹿) 川内 → 広島
7月10日 (7:08発) (9:32着)
さくら 542号 4号車 5番B席
¥7,600 内訳: 特3,730・九特3,870

川内駅
C25 10
7.10

2024.-7.-3川内駅-R (6-タ) 10106-02席

乗車券・新幹線特急券 *****

①交付

新神戸(市内) → (鹿) 川内
7月12日 (17:33発) (21:27着)
さくら 565号 4号車 6番A席
¥21,220 内訳: 乗11,660・特5,690・九特3,870

券面の都区内各駅下車前途無効

2024.-7.-3川内駅-R (6-タ) 10106-17席

無効
川内駅

新幹線特急券

①交付

(鹿) 川内 → 広島
7月10日 (7:08発) (9:32着)
さくら 542号 4号車 5番A席
¥7,600 内訳: 特3,730・九特3,870

川内駅
C25
7.10

2024.-7.-3川内駅-R (6-タ) 10106-01席

乗車券・新幹線特急券 *****

①交付

新神戸(市内) → (鹿) 川内
7月12日 (17:33発) (21:27着)
さくら 565号 4号車 6番B席
¥21,220 内訳: 乗11,660・特5,690・九特3,870

券面の都区内各駅下車前途無効

2024.-7.-3川内駅-R (6-タ) 10106-18席

無効
川内駅

新幹線特急券

①交付

(鹿) 川内 → 広島
7月10日 (7:08発) (9:32着)
さくら 542号 4号車 6番A席
¥7,600 内訳: 特3,730・九特3,870

川内駅
C25
7.10

2024.-7.-3川内駅-R (6-タ) 10106-03席

乗車券・新幹線特急券 *****

①交付

新神戸(市内) → (鹿) 川内
7月12日 (17:33発) (21:27着)
さくら 565号 4号車 7番A席
¥21,220 内訳: 乗11,660・特5,690・九特3,870

券面の都区内各駅下車前途無効

2024.-7.-3川内駅-R (6-タ) 10106-19席

無効
川内駅

新幹線特急券

①交付

(鹿) 川内 → 広島
7月10日 (7:08発) (9:32着)
さくら 542号 4号車 6番B席
¥7,600 内訳: 特3,730・九特3,870

川内駅
C25
7.10

2024.-7.-3川内駅-R (6-タ) 10106-04席

乗車券・新幹線特急券 *****

①交付

新神戸(市内) → (鹿) 川内
7月12日 (17:33発) (21:27着)
さくら 565号 4号車 7番B席
¥21,220 内訳: 乗11,660・特5,690・九特3,870

券面の都区内各駅下車前途無効

2024.-7.-3川内駅-R (6-タ) 10106-20席

無効
川内駅